



# 上尾ロータリークラブ



2022-2023年度R.I.テーマ

イマジン  
ロータリー



2022-2023年度 深澤 圭司会長

## 第2955回 例会

2023. 1. 19

会長あいさつ

週報 No.2216

発行 2023年 1月 26日

2022-2023年度  
会長 深澤 圭司  
幹事 門崎 由幸  
副会長 長沼 大策  
副幹事 坂本 忠光  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
副委員長 横山 泰史

### 行事予定

- 2月 2日 職業奉仕事業 (移動例会)  
埼玉県下水道公社  
荒川左岸北部支社  
見学会
- 2月 9日 会員研修例会  
地区役員卓話  
中里公造パストガバナー
- 2月17日 インターシティ  
ミーティング  
(上尾市文化センター)
- 2月23日 定款の規定により休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。  
本日は歴史に埋もれた武士道を紹介いたします。工藤俊作、埼玉県川口市に住んでいた元日本海軍駆逐艦「雷(いかづち)」艦長のお話です。工藤俊作は1901年(明治34年)1月7日、山形県生まれ、1979年(昭和54年)1月12日に癌で亡くなりました。享年78歳、日本海軍軍人です。1942年3月、駆逐艦「雷」艦長時にスラバヤ沖海戦で、撃沈されたイギリス軍艦の漂流乗組員422名を、危険を顧みず救助を命じ実行させた人物として知られています。最終階級は海軍中佐でした。  
この大戦中の奇跡的なエピソードは、2006年に草思社から出版された恵隆之介著『敵兵を救助せよ』で詳しく紹介され、またテレビでも採り上げられたのでご存じの方も多くはないかと思えます。戦争は人間をあらゆる面で極限まで追い詰めるため、人間の持っている醜さ、汚さ、嘘、まやかしなどの悪徳面も、また誠実、勇気、献身、愛などの美徳面も、より劇的な形であられることが多いと思います。工藤艦長のエピソードは、大戦中に起こった最も感動的な美談であり、日本人が持っている崇高な精神・武士道を具現化したもの、国民に勇気と誇りを与えるもので、永く広く知られ記憶されるべきものだと思います。

日米開戦翌年の1942年2月27日、ジャワ島北方のスラバヤ沖江で日本艦隊と英米蘭豪の連合部隊が交戦しました。連合部隊側は艦隊15隻中11隻が撃沈、残る4隻は逃走し、撃沈した英海軍巡洋艦エクゼター&エンカウンターに乗組員多数が救命ボートなどで漂流を続けていました。沈没した船から流れ出る重油が目が見えなくなる者も多数いました。赤道直下、容赦なく照り付ける太陽の下、漂流者は生存の限界に達しようとしていた時、日本海軍駆逐艦雷が海面に浮遊する多数の英国兵を発見。敵潜水艦が遊弋する危険極まりない海域で、前日には日本の救命ボートが攻撃を受け158名が命を落とす事態も起きていました。赤十字を付けた救命ボートへの攻撃は明らかに国際法を違反しています。そんな状況の中、この漂流者たちを見過ごすこともあり得たでしょう。しかし艦長の工藤俊作少佐は敢然と「敵溺者を救助せよ」と命令したのです。「もはや彼らは敵兵ではなく、勇敢に戦った戦士であ



ROTARY CLUB OF AGEO

る。いかに戦争と言えど、困った者を救助せずにフェアな戦争とは言えない」と、まさに武士道精神を貫いたのです。

駆逐艦が漂流者に近づいてきました。英国兵は機銃掃射でハチの巣にされると死を覚悟しました。しかし工藤艦長の、日本海軍にとっての異例の号令のもと、駆逐艦はマストに救難活動中を示す国際信号旗を掲げ、英国兵の救助に当たったのです。英国兵は全員が涙したそうです。長時間の漂流で体力を消耗している英国兵を海面から拾いあげる救助作業は難航しました。そこで工藤艦長は「一番砲だけ残し、総員敵溺者救助用意」との命令を発し、総力を挙げて救助にあたるよう指示しました。やっとの思いでロープに掴まっても安心して海に沈んでしまう兵もいたそうです。乗組員はそのような兵を自ら海に飛び込んで拾い上げました。「雷」の甲板は救助された英国兵で埋め尽くされていました。英国兵たちは丁寧に兵として重油で汚れていましたが、日本兵が丁寧にアルコールで拭き取り、シャツと半ズボンと運動靴が支給され、ミルクとビール、ビスケットが与えられました。その後、英国海軍21人の士官が集められました。工藤艦長は端正な拳手の敬礼をした後、流暢な英語で「諸官は勇敢に戦われた。いまや諸官は日本海軍の名誉あるゲストである」とスピーチしました。この中に、英国海軍少尉で終戦後にスウェーデン大使を務めるなど外交官として活躍したサムエル・フォール氏がいて、彼は目に涙を浮かべ、工藤艦長と堅い握手を交わしたそうです。救助された英国兵は全員移送されました。英国兵たちは工藤艦長に拳手の礼をして、嬉しさを体で示し手を振って賑やかに去っていきました。

救助劇はこれで終わりましたが工藤少佐はやがて中佐に昇進、指揮する艦も変わりましたが、その後病気がちとなり内地勤務となりました。駆逐艦「雷」は昭和19年4月13日に米駆逐艦の魚雷攻撃を受けてサイパン島近海で撃沈されました。その夜、工藤中佐は兵たちが「艦長、艦長」とロカに駆け寄り、輪を回るように集まってやがて静かに消えてゆく夢を見て、「雷」に異変が起きたことを察知したそうです。

工藤中佐は終戦後、郷里の山形県高島町に帰りました。そこで農作業の手伝いなどをしていましたが、夫人・かよの姪が埼玉県川口市で医院を開設するこ

とになり、その事務長に就任するため、昭和30年に川口市に転居しました。時折、昔の部下が訪れる以外は、海軍時代の同期会・戦友会などに顔を出すことはなく、昭和54年1月、胃がんとの闘病の末、78歳の生涯を静かに閉じました。海軍時代の内地勤務の間も、また終戦後に過ごした生活でも、敵兵救助のエピソードは、周囲にも夫人にさえも一切話さなかったということです。そのためこの奇跡的な美談は誰にも知られず、歴史に埋もれていました。

このエピソードを再び世に出したのは、救助された英国海軍士官のサムエル・フォール氏でした。戦後、スウェーデン大使などを務め外交官として活躍していましたが、この救助劇をひとときも忘れることはなく、なんとか工藤艦長を探し出して謝意を伝えたい、そして彼の示した日本の武士道精神を世界に広く知らしめ顕彰したいとの気持ちを持っていたそうです。1987年(昭和62年)の米海軍機関誌の新年号に詳しい救出劇を投稿し、また1998年(平成10年)に天皇陛下の訪英にあわせて、日本軍捕虜を中心とした反日キャンペーンが起きた際、英タイムズ誌にこの救出劇を紹介し、「このような武士道精神をもった国の元首を温かく迎えよう」と呼びかけたのです。そのため反日キャンペーンは急速に勢いを失ったそうです。

サムエル・フォール氏は外交官を勇退してから自叙伝を出版しましたが、そこには工藤俊作中佐に捧げる献辞が記されています。工藤中佐の没後四半世紀が流れた2003年に海上自衛隊の観閲式が行われた際、サムエル・フォール氏が日本に招待され護衛艦「4代目いかづち」の艦上で61年前の救出劇を静かに語り、この時初めて日本人は工藤中佐の偉業を知りました。サムエル・フォール氏は84歳、工藤中佐がすでに亡くなっていることを知り非常に落胆されたそうです。帰りがけに工藤中佐の墓を訪ねたことから、恵隆之介氏が執筆し、『敵兵を救助せよ』という名著が世に出されました。私はこの本を読み、すごい方が埼玉県川口市にいたんだなあ感銘を受けました。本日もよろしくお願いたします。

### 幹事報告

門崎 由幸 幹事

◇皆さんに会費の納入のお願いをお配りしました。今回は60周年記念式典の登録料を加えさせていただきます。



ROTARY CLUB OF AGEO

いてます。式典へのご参加もお願いします。2月16日までのお振込みをお願いします。  
◇台南東北RCから感謝状・お礼が届いています。  
◇12月末日で坂会員が退会しました。ぜひ新会員のご紹介をお願いします。



### 委員長報告

青少年奉仕委員会 樋口雅之委員長

一昨日、青少年奉仕委員会を開催しました。インターアクト訪日団の対応について早急に話し合わなければならないとのこと、大勢の皆さんにお集まりいただき、役割分担を決めることができました。委員会へのご参加、ありがとうございました。



米山記念奨学委員会 宇多村海児委員長

ロータリー米山記念奨学会から下期の寄付のお願いという文書が届いています。下期は概算で一人1万円ずつご寄付いただくと目標額を達成できます。下期もご寄付をよろしくお願いいたします。



### 近況報告

齋藤 博重 会員

年末年始は、家庭ごみの回収が通常の1.5倍に増え、社員も大変でした。ようやく一段落、仕事の方は落ち着きました。プライベートでは、いま仮住まいに居ますが、1月からいよいよ着工が始まり、人生2度目の家の建築に取り掛かっている状況です。半年くらい工期がかりそうですが完成を楽しみにしています。先週末はソウルに海外旅行に行ってきました。カジノで勝りましたが、帰国後、大宮で大木崇寛君とだいぶ使ってしまう、社会に還元しました。そんな今年の始まりでした。



### 例会主題

上期中間報告・上期決算報告

クラブ奉仕委員会 坂本忠光副幹事

RLIへ、上期は小田切会員が12月のPart 1に出席しました。下期、門崎幹事が1月のPart 2、長沼副会長が2月のPart 3に出席予定となっています。

出席委員会 大塚信郎委員長

出席している会員と、そうでない会員とがいます。出席はロータリアンの義務なので、なるべく多くの会員が出席するにはどうしたらいいか、理事会に委ねたいと思います。

親睦活動委員会 小田切宏治委員長

上期の事業としては、納涼例会がガバナー公式訪問日と重なり実施できず、クリスマス例会を実施したまでです。下期は親睦旅行と最終例会を予定しています。

プログラム委員会 山崎亮一委員長

会員卓話のほか外部から講師を招いて卓話をしていただきました。印象深いのはニホンオオカミをずっと探している八木さんです。八木さんとはその後も連絡をとりあっていて、私も秩父の山奥に行ってニホンオオカミを探してくる予定です。それと下期のプログラムでご要望や、講師の推薦がありましたらご連絡ください。

ホビー委員会 齋藤博重委員長

上期には鴻巣カントリークラブでゴルフコンペを行いました。下期も企画をしたいと思います。よろしくお願いたします。

会員選考委員会 久保田勲委員長

上期には会員選考がありませんでしたが、下期に向けて会員増強維持委員会から推薦がありましたら適格性を審査したいと思います。

ロータリー情報委員会 須田悦正委員長

上期には活動できなかったで、下期には入会3年未満の方を対象にロータリー情報を共有する場を設けたいと思います。

公共イメージ向上委員会 長沼大策副会長

週報の発行、ホームページの更新、Facebookページの投稿を滞りなく行っています。上期には地区のHPにある「各クラブの活動案内」に、【上尾高校イ

ンターアクトクラブ(同好会)が、缶バッジ製造販売でウクライナ支援」という投稿を行いました。下期に向けては6月に予定されている記念事業を一般の方にもPRしていきたいと思えます。

社会奉仕委員会 大木崇寛委員長

2月2日の職業奉仕事業(移動例会)をご案内します。10時から(公財)埼玉県下水道公社の見学会を行います。昭和54年に設立された日本でいちばん歴史のある下水道公社で私も仕事で何回か出入りをさせていただいたことがあり、広大な敷地内に素晴らしい循環型リサイクルシステムがあります。皆さまにも何か気付きを持っていただける機会になると確信しています。ぜひご出席のほどお願いたします。

社会奉仕委員会 深澤圭司会長

上期では10月に献血を行いました。インターアクト同好会の生徒さんも初めて参加していただき献血にも協力していただきました。

国際奉仕委員会 門崎由幸幹事

台南東北RCさんに訪ねた際、こちらからの要望も提出しました。理事会で検討していただくことになっています。下期には60周年記念式典に台南東北RCさんがお越しになる予定です。

青少年奉仕委員会 樋口雅之委員長

上尾高校のインターアクト同好会さんにはいま部員が7名いて、文化祭なども非常に熱心な活動を行っています。文化祭ではウクライナ支援のための缶バッジを8種類製作し販売しました。下期には、この缶バッジを60周年記念講演会場で販売する予定です。また3年ぶりに3750地区とのインターアクト訪日団・訪韓団の日韓交流が2月・3月に実施されます。そしてRYLA研修を5月13日～15日に沖縄で開催する予定です。

ロータリー財団委員会 斎藤修弘委員長

財団としては上期は主だった活動はしていませんが、地区補助金を活用したあゆみ会大石事業所へのサーモセンサー&タブレットの寄贈を行いました。また10月23日の世界ポリオデーで上尾の3クラブが合同でポリオ根絶の呼びかけと募金を行いました。肝心な寄付ですが、上期は急激な円安でロータリーレートも150円近くなり、ご寄付のお願いがしづらかったのですが、下期になって徐々に円高になってきましたので皆さんにご寄付のご協力をいただけたらと思います。よろしくお願いたします。

米山記念奨学委員会 宇多村海児委員長

寄付の方は順調に集まっています。米山記念奨学生・荘くんのお話は須田カウンセラーに任せっ学生で心苦しく思っています。地区の米山記念奨学部門にも出向して次年の候補者の面接のお手伝いも行って、奨学金を受ける覚悟もっている子は迫力が違うなと感じました。下期はクラブ内で会員の皆さんが米山記念奨学事業に関心をもっていたけるような活動を行いたいと思います。

60周年実行委員会 大木保司委員長

9月から毎月実行委員会を開催し、まずは3月16日の記念式典に向け準備が整ってきました。6月の記念事業も成功できるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。

会計 島村 健会員

上期は予算通りに収入・支出が執行されています。

会計監査 尾花正明会員

予算は予定通りに執行されています。1つ気になったのは我々は奉仕団体なので、奉仕活動費が全体のバランスの中では少ないのではないかと思ったことです。地域の中で認識されるよう奉仕活動を行う団体になりたいと思います。

スマイル 下期もよろしくお願いたします!

深澤会長/門崎幹事/長沼副会長/坂本副幹事/大塚信郎会員/村岡会員/尾花会員/大木保司会員/大塚崇行会員/島村会員/齋藤博重会員/久保田会員/齋藤哲雄会員/須田会員/樋口会員/宇多村会員/齋藤修弘会員/小田切会員/大木崇寛会員/関口良康会員/山崎会員/寺脇会員

出席率	
会員数	34
出席免除	7
出席対象者	28
出席者数	21
	75.00%

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

